

2024年4月19日

各位

会社名 株式会社アジュバンホールディングス
 代表者名 代表取締役会長兼社長 中村 豊
 (コード: 4929 東証スタンダード市場)
 問合せ先 管理本部本部長 惣田 健
 (TEL 078-351-3135)

2024年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年10月20日付で公表しました2024年3月期連結会計期間の業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期連結業績予想と実績値との差異について (2023年3月21日~2024年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当 期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年10月20日発表)	百万円 4,500	百万円 14	百万円 31	百万円 △62	円 銭 △7.88
実績値 (B)	4,438	△1	17	△99	△12.49
増減額 (B-A)	△62	△15	△14	△36	-
増減率 (%)	△1.4%	-	-	-	-
(ご参考) 前年同期実績値 (2023年3月期)	4,377	232	265	403	50.46

2. 差異の理由

売上高は、新しいメイクブランド「rafuna (ラフナ) -point make-」の上市と「MELECT バウンシー」と「ミスティⅢ」のプロモーションを通じて、スキンケア市場での売上を伸ばそうとしましたが、前年の実績には及ばず計画を下回る結果となりました。ヘアケア分野では「muts hair touch (ミューツ ヘア タッチ)」と「KASUI プレミアムエッセンス」の上市、「Re : >>> BASIC LINE (リ ベーシックライン)」のプロモーションにより、計画を上回りました。EC 事業の遅れが全体の売上に影響を与え、結果としてグループ全体の売上は予測を1.4%下回る結果となりました。

損益面においては、売上計画の未達の影響もあり売上高の減少に伴い変動費も減少したことから販売費一般管理費の総額は減少しましたが、棚卸資産評価損の計上等により、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回る結果となりました。

以上